



2021年7月期決算説明資料

 株式会社ニッソウ
(名証セントレックス:1444)



1. 会社概要

2. 2021年7月期ハイライト

3. 2021年7月期決算概要

4. 今後の展望

1. 会社概要

2. 2021年7月期ハイライト

3. 2021年7月期決算概要

4. 今後の展望

会社概要

会社名	株式会社ニッソウ
代表者	代表取締役社長 前田 浩
本社所在地	東京都世田谷区経堂1丁目8番地17号
創業	1987年1月
決算期	7月
資本金	216百万円(2021年7月末)
従業員数	52名(2021年7月末)
拠点	神奈川営業所 / 埼玉営業所 / 千葉営業所 / 朝霞営業所
事業内容	不動産物件のリフォーム

ニッソウの歩み

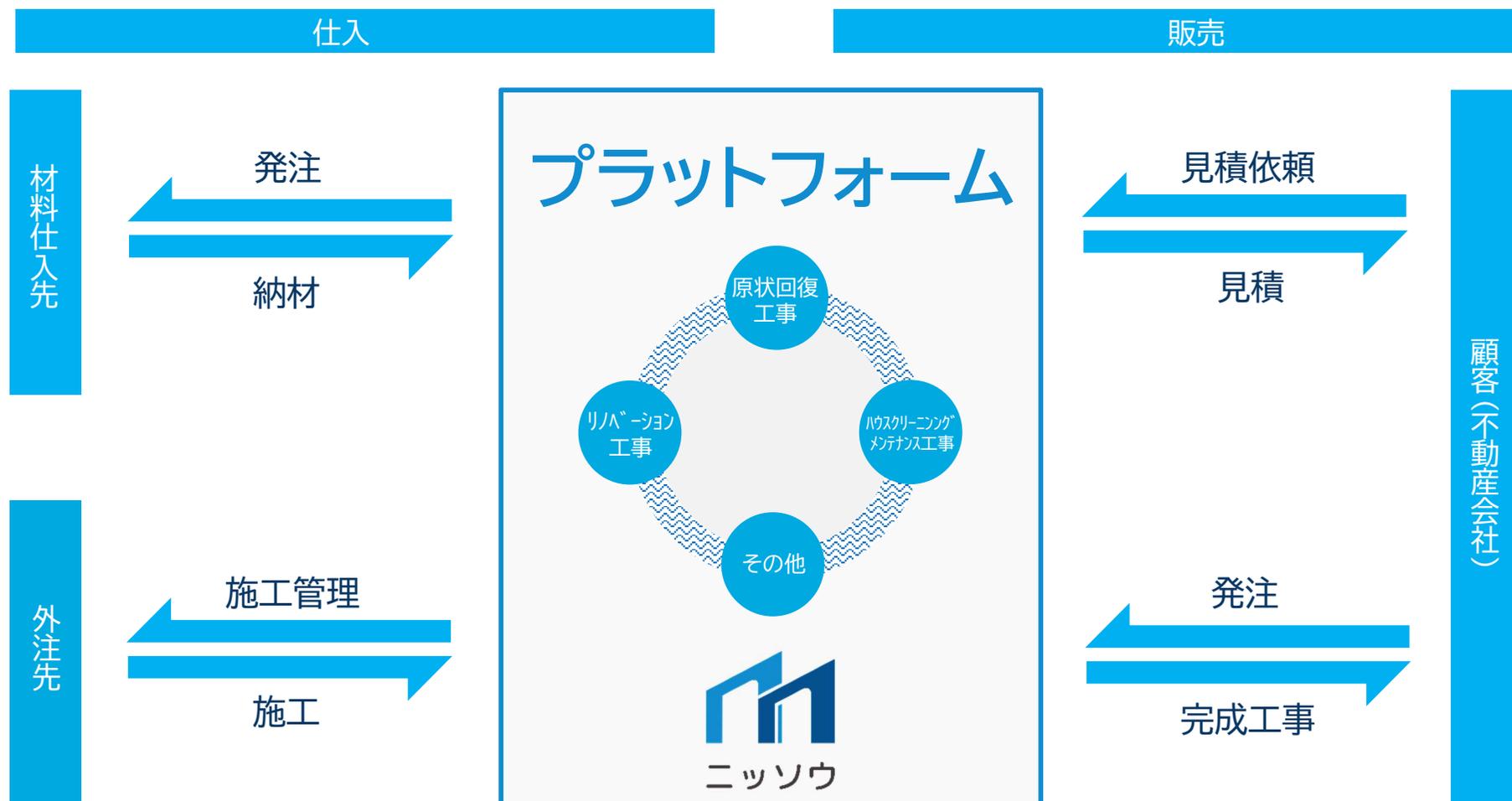
- 1988年 株式会社ニッソウを設立(資本金300万円)
- 1990年 世田谷区桜に本社を移転
- 1997年 東京都知事(般)第106206号一般建設業許可を取得
- 1998年 すべての営業活動をB to Bへシフト
- 2006年 世田谷区経堂へ本社を移転
- 2016年 神奈川県高座郡寒川町に神奈川営業所を開設
- // 国土交通省(般)第26483号一般建設業許可を取得
- 2017年 埼玉県さいたま市西区に埼玉営業所を開設
- 2018年 東京証券取引所TOKYO PRO Marketへ上場
- 2020年 名古屋証券取引所セントレックスへ上場
- // 千葉県船橋市大穴北に千葉営業所を開設
- 2021年 埼玉県朝霞市溝沼に朝霞営業所を開設

2021年7月期



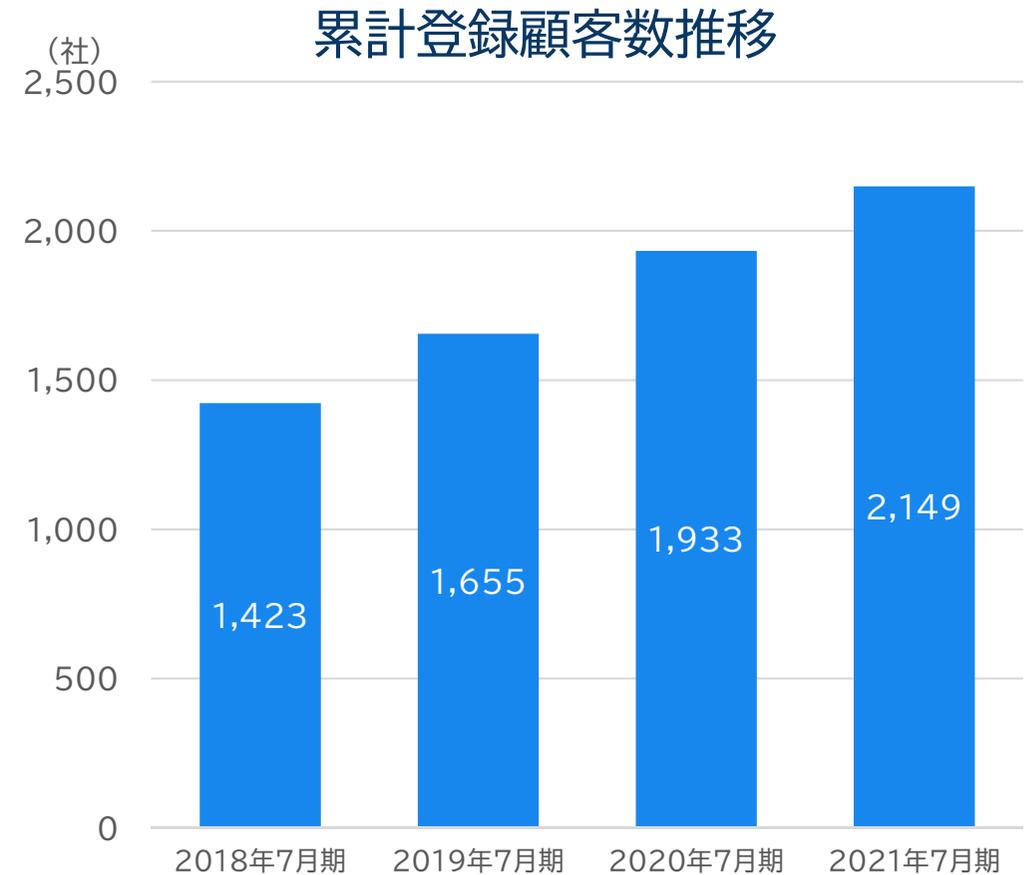
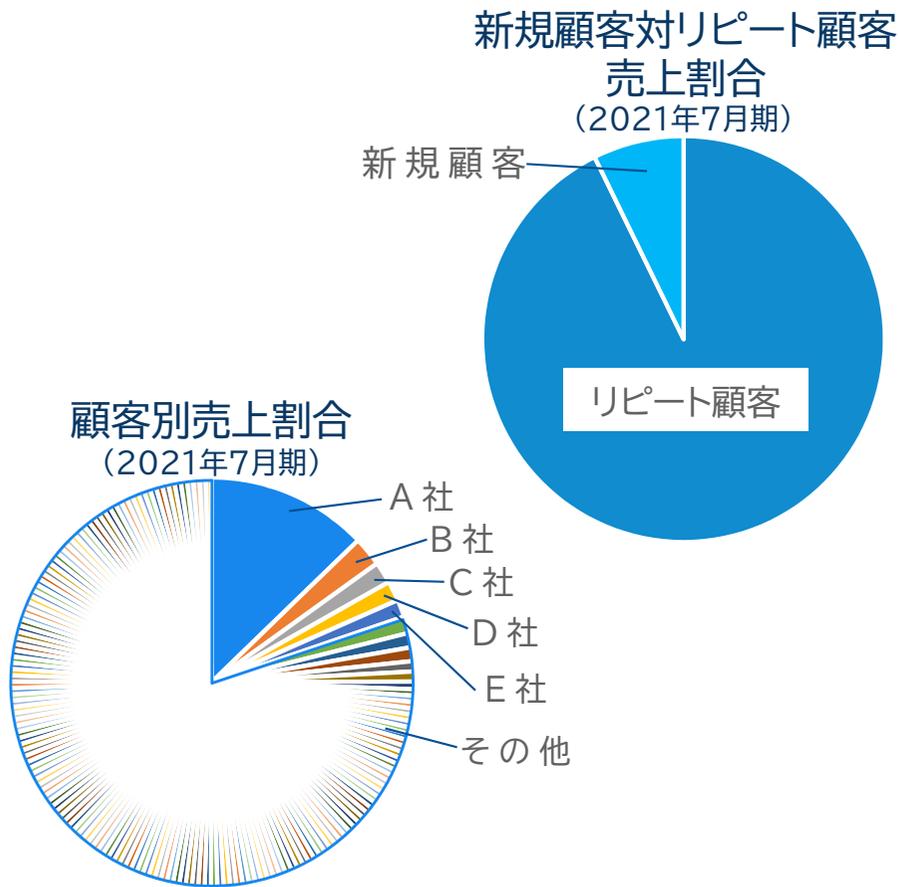
ビジネスモデル

- 顧客と業者をつなぐプラットフォーマー
- 不動産会社の管理・所有している物件に係る各種リフォーム工事をマネジメント
- 主に3種類の工事を施工、その他顧客のニーズにより多種多様な工事に対応



顧客の特徴

- ❖ 工事の受注の多くをリピート顧客から獲得
- ❖ 多くの顧客から仕事を受注するため、1社依存度が少ない
- ❖ 新規顧客獲得も常に注力、今期は216社登録



※弊社との契約後、弊社販売管理システムへ顧客登録をした会社数になります
各期末時点での累計登録数になります

※新規顧客: 2021年7月期期首以降に契約・販売管理システムへ登録がなされた顧客
リピート顧客: 2020年7月期末までに契約・販売管理システムへ登録がされている顧客

1. 会社概要

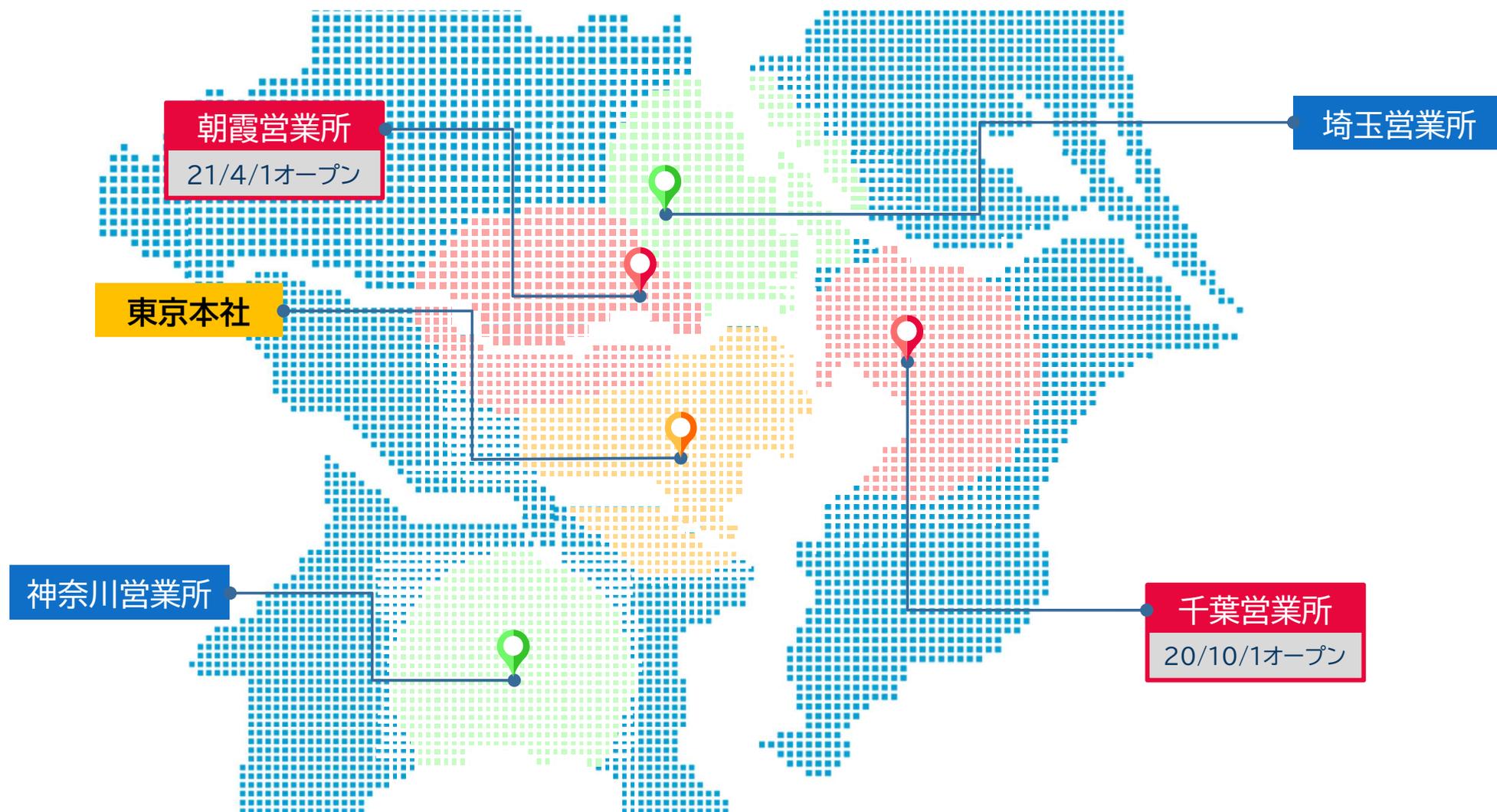
2. 2021年7月期ハイライト

3. 2021年7月期決算概要

4. 今後の展望

首都圏エリアの強化

- ◆ 今期10月に千葉営業所、4月に朝霞営業所を開設
千葉エリア、埼玉西・西東京エリアへアプローチ
- ◆ 首都圏エリアの強化を推進



積極的な人材投資

- 持続成長をするために人材への投資を積極的に実行
- 「教育制度の強化」、「人員増強」、「働きやすい組織づくり」による組織基盤の強化で事業力アップを実施



「人員増強」

- 積極的な採用活動
- ブランドイメージの向上
- 広報活動の拡充 等



「教育制度の強化」

- 指導カリキュラムの見直し
- 教育体制の強化
- 管理職育成 等



「働きやすい環境づくり」

- 風通しの良い社風づくり
- ダイバーシティの推進
- 社内交流の活性化 等

広告戦略の強化

- ❖ ブランドイメージの向上、認知度のアップを目指して今期よりTVCMを放映開始
- ❖ ラジオCM等も継続して実行
- ❖ 様々な求人媒体を利用し、多種多様な人材へリクルーティング
- ❖ IR活動も積極的に行う
- ❖ メディアミックスにより、さらなる知名度向上を目指す



TVCM(建もの探訪にて放映)



IR活動(IRTV)



ラジオCM



看板広告(朝霞営業所)

ETC...

1. 会社概要

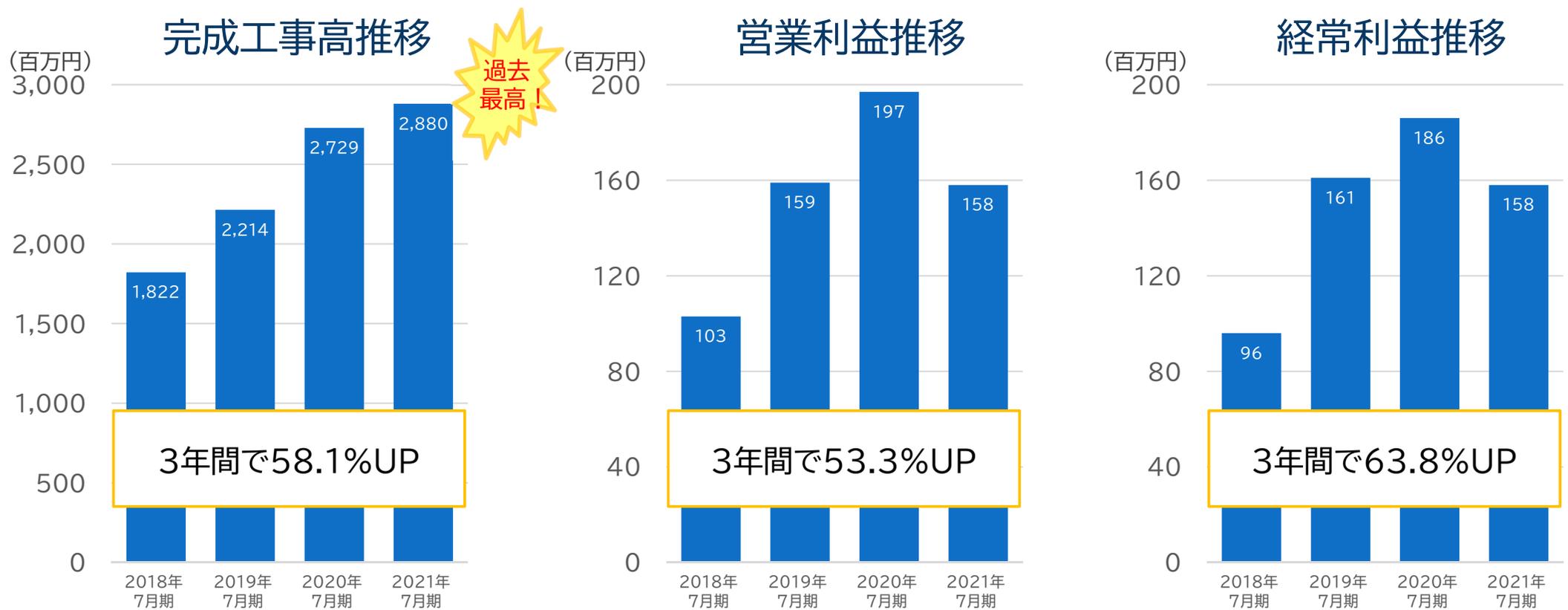
2. 2021年7月期ハイライト

3. 2021年7月期決算概要

4. 今後の展望

完成工事高

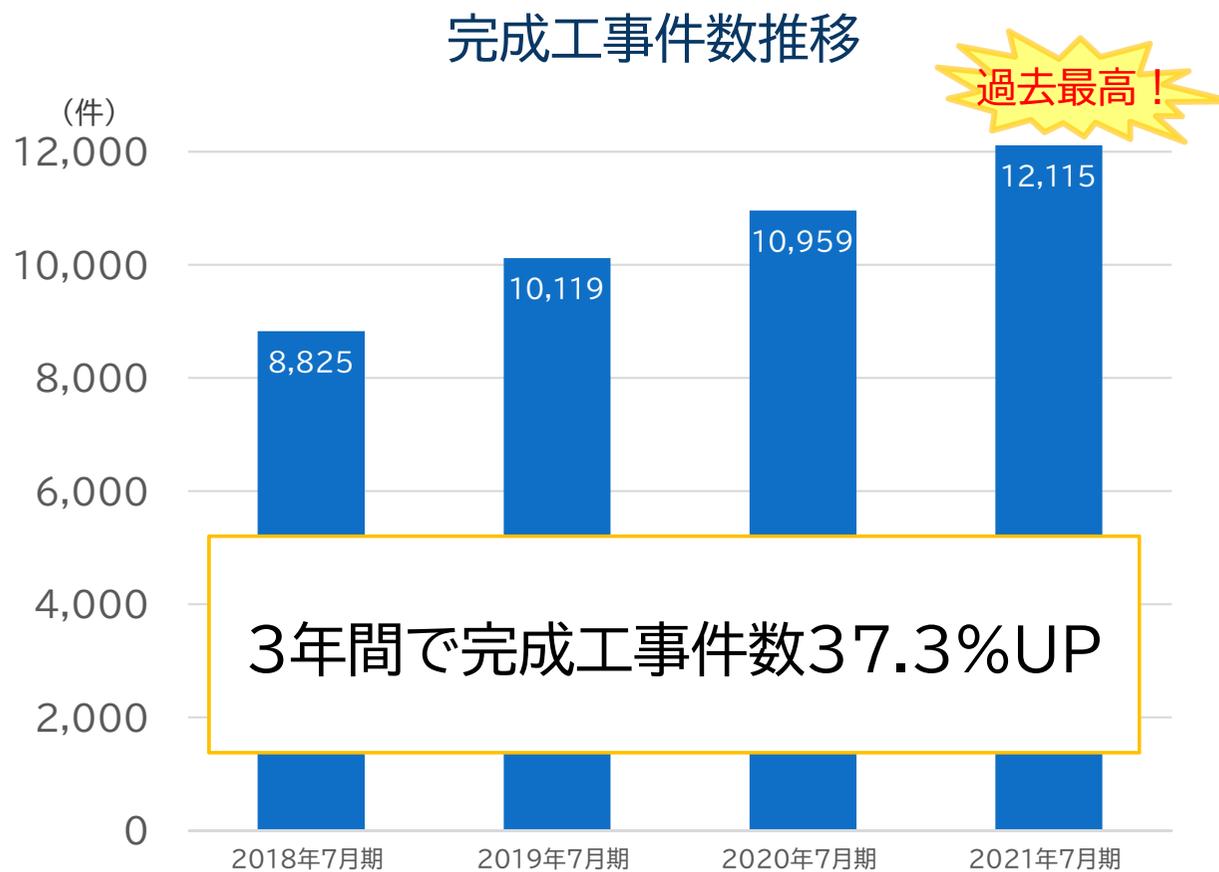
- 2021年7月期の完成工事高(売上高)は2,880百万円(前期比5.5%増)となり、2018年7月期と比べ、58.1%増となった
- 2021年7月期の営業利益158百万円(前期比-19.8%)、経常利益は158百万円(-15.4%)であった



※2020年7月期より工事進行基準を適用しております。2018年7月期、2019年7月期に関しては工事完成基準となっております。

完成工事件数

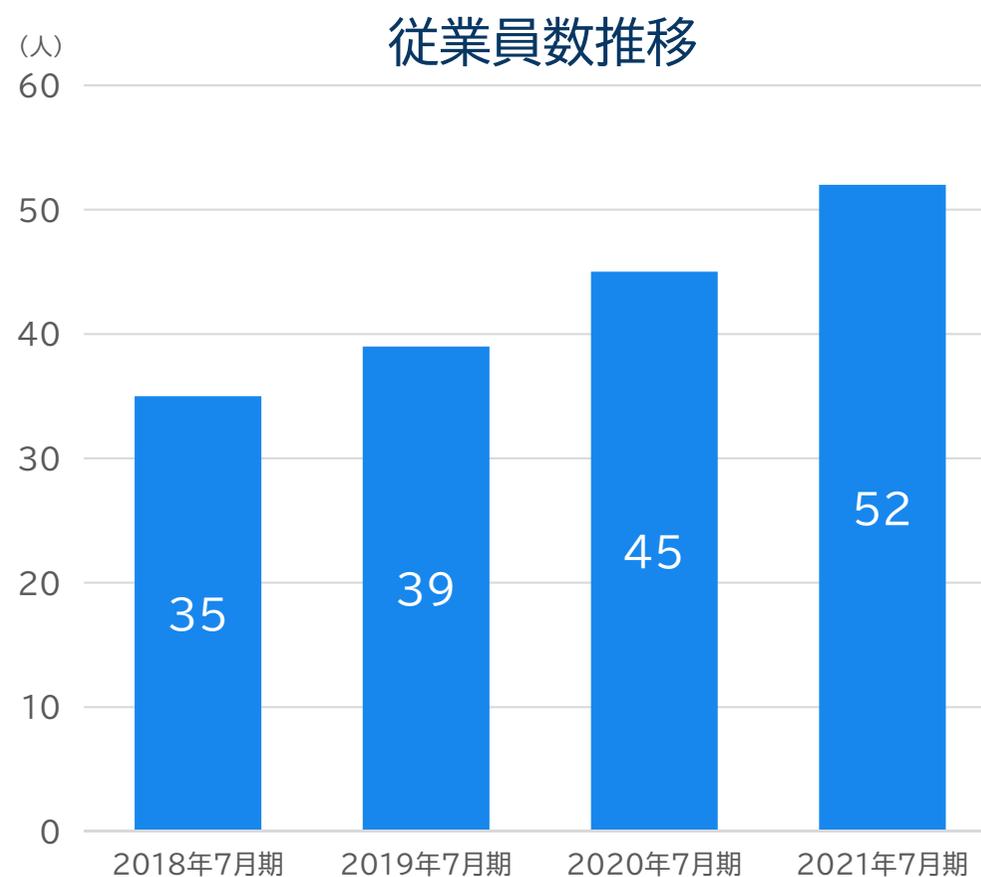
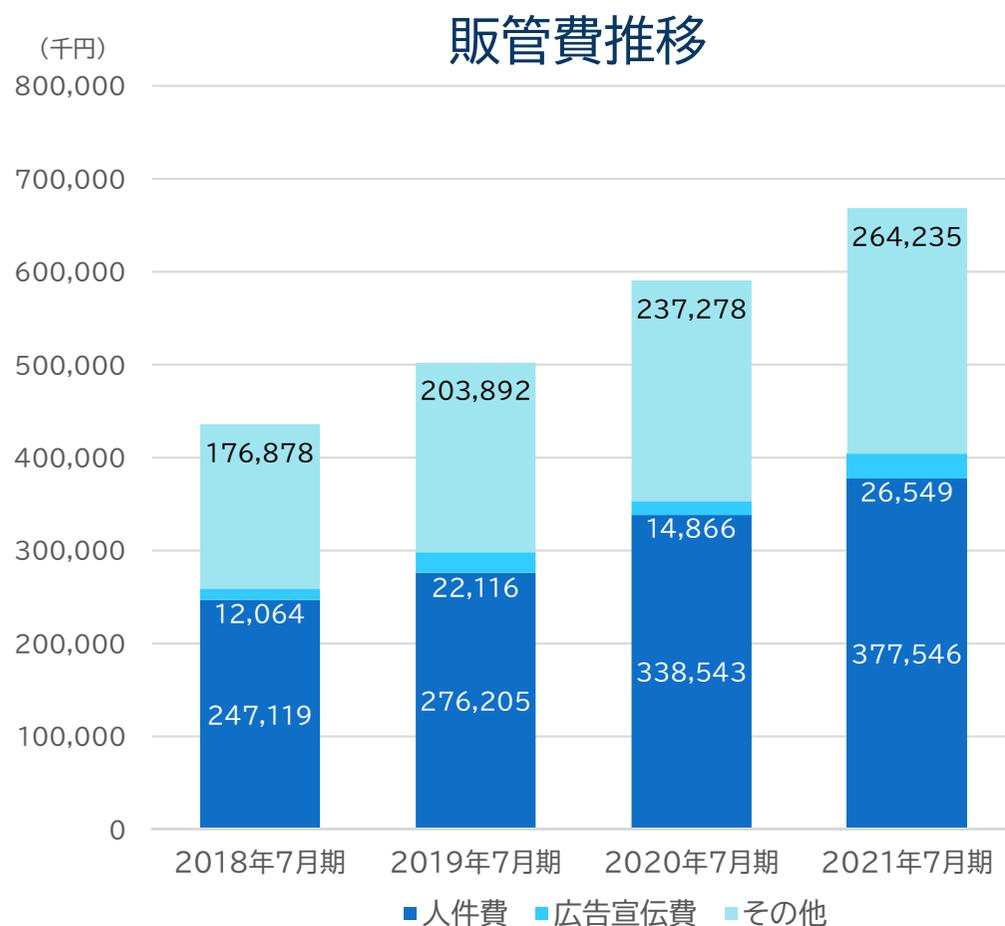
- 2021年7月期の完成工事件数は12,115件(前期比10.5%増)となり、2018年7月期と比べ、37.3%増となった



※完成工事件数は各期間中に完工した工事の件数となっており、進行基準の適用による工事件数の増減等は考慮していません。

販管費・社員数の推移

- 工事件数を増加させるため積極的に営業社員を採用、完成工事高増加に寄与
- 前期末より従業員7名増員
- 多くの増員を受け入れられる体制づくりを遂行中
- 今期は広報活動、求人活動に力を入れているため、広告宣伝費も増加



※各期末時点での従業員数となります

損益計算書

損益計算書 (単位:千円)	2020年7月期	2021年7月期	増減額	増減率	増減の主な内容
完成工事高 (売上高)	2,729,495	2,880,944	+151,449	+5.5%	人員増加による営業力強化、顧客数増加、工事件数の増加による
完成工事原価 (売上原価)	1,941,721	2,054,601	+112,880	+5.8%	完成工事高が増加したことに伴う材料費、外注費の増加による
完成工事総利益 (売上総利益)	787,773	826,343	+38,569	+4.9%	完成工事高が増加したことによる
販売管理費	590,689	668,331	+77,642	+13.1%	人員増加による人件費の増加、CM放送等による広告宣伝関連費用の増加など将来への投資による
営業利益	197,084	158,011	△39,073	△19.8%	完成工事総利益の増加より販管費の増加のほうが大きかったことによる
営業外損益	-10,296	100	+10,396	－%	前年第3四半期のセントレックス市場へ上場のための上場準備費用がなくなったことによる
経常利益	186,788	158,111	△28,676	△15.4%	完成工事総利益の上昇、営業外費用の減少より、販管費の増加のほうが大きかったことによる
当期純利益	124,776	102,154	△22,621	△18.1%	

貸借対照表・キャッシュフロー

貸借対照表 (単位:千円)	2020年7月期末	2021年7月期末	増減額	増減額の主な内容
流動資産	1,087,376	1,147,611	+60,235	完成工事未収入金の増加による
固定資産	46,175	107,542	+61,366	営業所開設、事業所拡大のため、 土地建物を購入したことによる
資産合計	1,133,552	1,255,153	+121,601	
負債	251,930	245,872	△6,057	工事未払金が増加したが未成工事受入 金の減少、未払消費税の減少による
純資産	881,621	1,009,281	+127,659	資本金、資本剰余金の増加、純利益の 計上による利益剰余金の増加による
負債純資産合計	1,133,552	1,255,153	+121,601	

キャッシュフロー計算書 (単位:千円)	2020年7月期末	2021年7月期末	増減額	増減額の主な内容
営業活動によるCF	137,342	54,452	△82,890	棚卸資産の減少、税引前当期純利益の 減少、未成工事受入金の減少及び未払 消費税の減少による
投資活動によるCF	△21,326	△62,684	△41,357	現金にて固定資産を前期より獲得した ことによる
財務活動によるCF	205,754	△1,306	△207,061	前期に名証上場に伴う株式を発行した ことによる
現金及び現金同等物の 期末残高	720,186	710,647	△9,539	

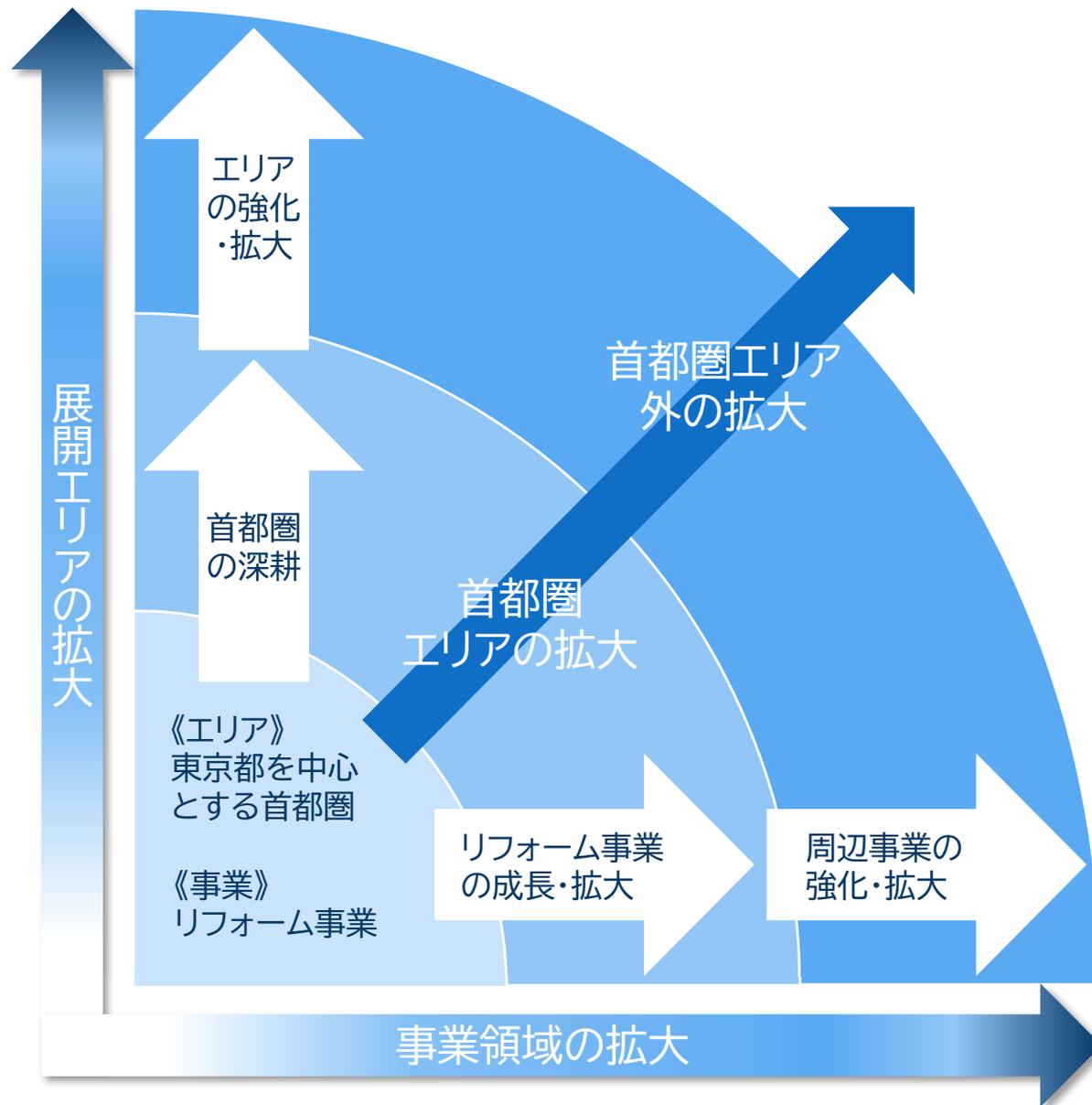
1. 会社概要

2. 2021年7月期ハイライト

3. 2021年7月期決算概要

4. 今後の展望

今後の展望



【首都圏での戦略】

- ・東京都を中心とした顧客の新規開拓及び既存顧客の深耕
- ・原状回復工事を中心とした地域シェアの拡大
- ・未進出エリアへの営業所開設

【周辺事業育成】

既存3種の工事受注件数増強に加え、外装・共用部工事の受注など周辺事業内容拡大

【新たな展開施策】

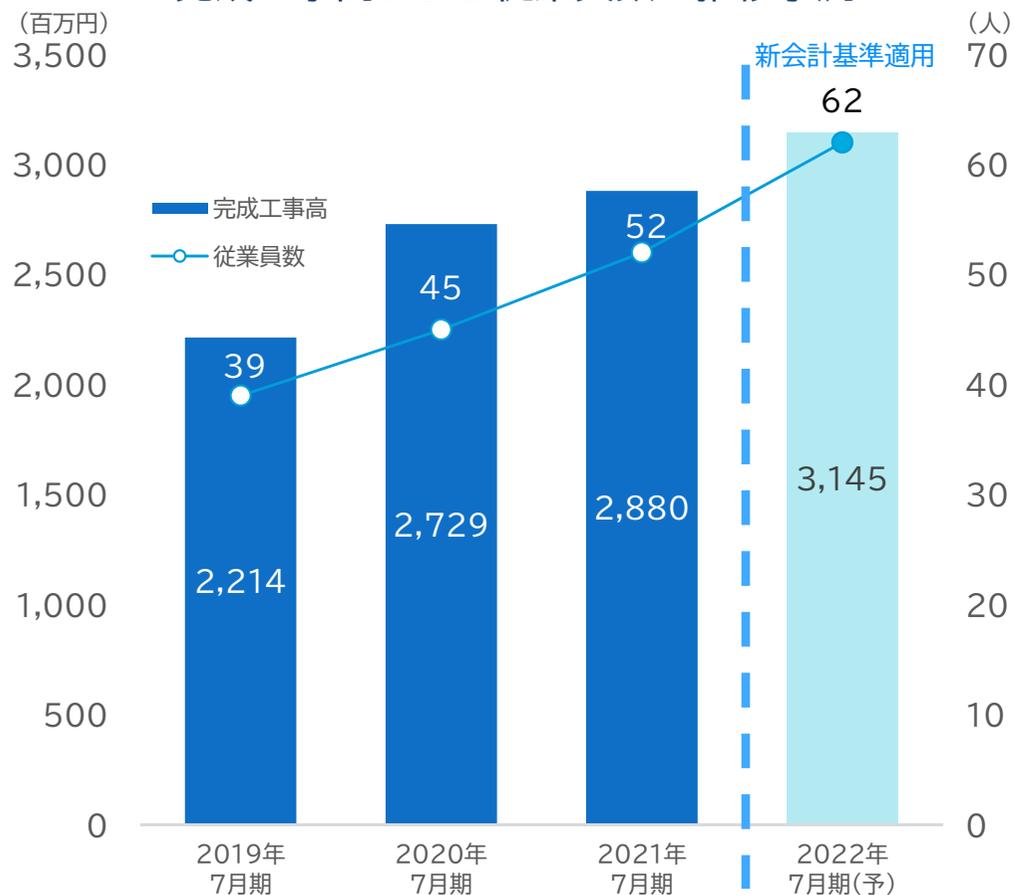
- ・全国エリアへの進出検討
- ・「その他工事」の内、外装工事や共用部リノベーション工事の事業確立
- ・東南アジアへのビジネス展開の模索

直近では首都圏エリアのさらなる強化、
人員確保+人員育成による
売上・件数増加をメインに実施

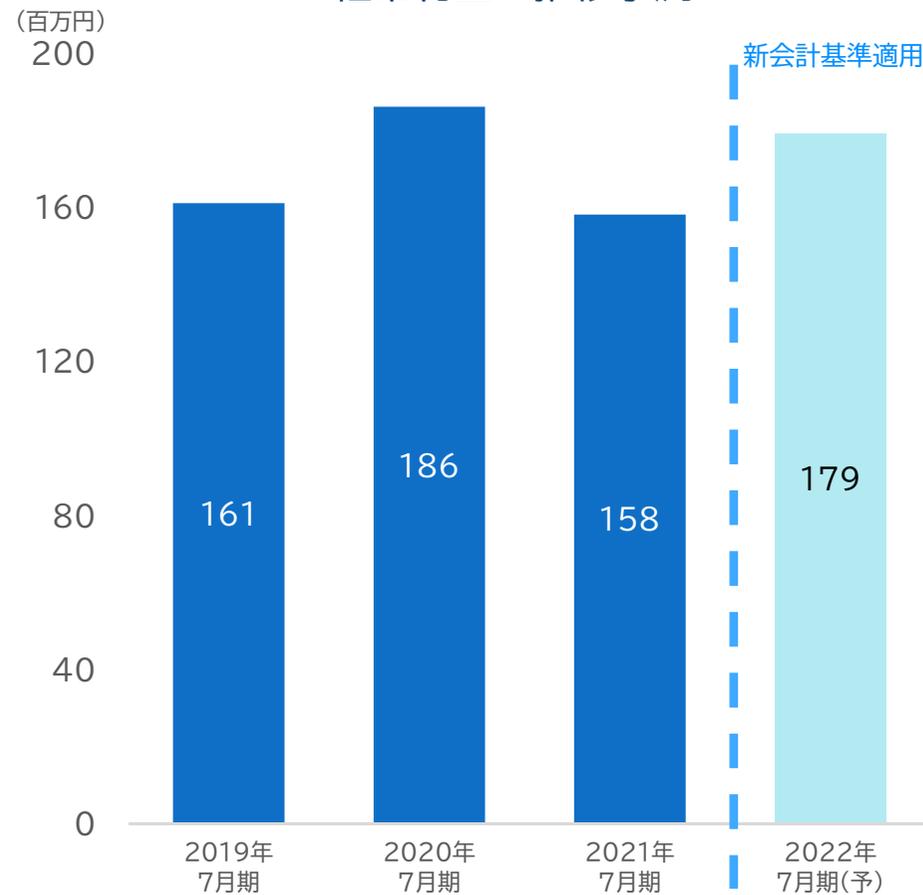
2022年7月期業績予測

- 2022年7月期より新会計基準を適用
- 2022年7月期は完成工事高3,145百万円(新会計基準適応前の場合3,250百万円)、
経常利益179百万円、当期純利益114百万円を見込む

完成工事高および従業員数の推移予測



経常利益の推移予測



※2022年7月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の推移予想については2022年7月期の予測についてのみ当該会計基準等を適用した場合の金額になっております。

2022年7月期通期計画

- 2022年7月期より新会計基準を適用
- 積極的な新規顧客の開拓をさらに進めて行く
- 人材育成及び人材採用の強化による将来への投資を継続

(単位:千円)	2021年7月期 旧会計基準	2022年7月期 新会計基準適用 (予測)	増減額	増減率
完成工事高 (売上高)	2,880,944	3,145,471	+264,527	+9.2%
完成工事原価 (売上原価)	2,054,601	2,309,054	+254,452	+12.4%
完成工事総利益 (売上総利益)	826,343	836,417	+10,074	+1.2%
販売管理費	668,331	642,313	-26,018	△3.9%
営業利益	158,011	194,104	+36,092	+22.8%
経常利益	158,111	179,239	+21,127	+13.4%
当期純利益	102,154	114,334	+12,179	+11.9%

※2022年7月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の予想については2022年7月期の予測についてのみ当該会計基準等を適用した場合の金額になっており、増減額及び増減率は参考値になります。

2022年7月期通期計画/参考

- 2022年7月期より新会計基準を適用
- 積極的な新規顧客の開拓をさらに進めて行く
- 人材育成及び人材採用の強化による将来への投資を継続
- 2022年7月期について旧来通りの会計基準が適用された場合の予測値、増減比較は以下の通り

(単位:千円)	2021年7月期 旧会計基準	2022年7月期 旧会計基準適用 (予測)	旧会計基準適用 増減額	旧会計基準適用 増減率
完成工事高 (売上高)	2,880,944	3,250,734	+369,790	+12.8%
完成工事原価 (売上原価)	2,054,601	2,309,054	+254,452	+12.4%
完成工事総利益 (売上総利益)	826,343	941,680	+115,337	+14.0%
販売管理費	668,331	747,576	+79,244	+11.9%
営業利益	158,011	194,104	+36,092	+22.8%
経常利益	158,111	179,239	+21,127	+13.4%
当期純利益	102,154	114,334	+12,179	+11.9%

ご清聴ありがとうございました





不動産リフォームの ニッソウ

【本資料お取扱い上のご注意】

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
本資料中に業績予測ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きくことなる場合があります。